



交通委員会だより

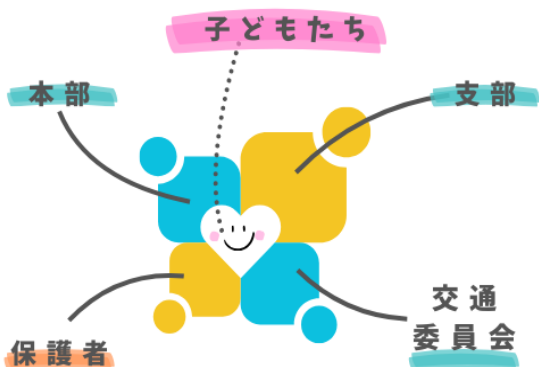


流山市立流山小学校
校長 安藤あゆみ
PTA会長 森育広
交通委員長 島川 恭世

令和6年7月 第5号

日頃より、見守り活動へのご理解ご協力いただき、ありがとうございます。
子どもの交通・登下校の安全についての問題は、毎日そこにあります。そして、さまざまな生活事情を抱えたわたしたち保護者にできることには、限りもあります。
だからこそ、個々の見守りをただ点在させるのではなく、しっかりとつないで『輪』として広げていきたい。そんな思いから、交通委員会では『見守りんぐプロジェクト』を始動しました。
プロジェクトの先駆けとして、先月6月に現状調査のアンケートを実施しました。
結果は裏面に掲載しましたので、どうぞご覧ください。

子どもが安全に登下校できますように…と、保護者の思いからできた、
保護者による、見守りプロジェクトとは…



つながる

PTA本部・支部・交通・保護者が連携をとり、情報を共有しあえる、見守りの輪(RING)を構築

みまもる

無理なく見守り活動(見守り・ING)に参加できるITツールを活用した仕組み作り

つづける

見守りする保護者が、気軽に続けやすいシステム

流小 PTA 見守り活動を、今年度さらに分かりやすくします！

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
概要		全家庭での見守り開始 全家庭横断旗の配付	交通委員会発足	交通委員会 『見守りんぐプロジェクト』開始	概要
登校時	【共通】 個人当番制 (支部作成)	【共通】 ・見守りカレンダー(本部作成)による、グループ当番制・保護者による見守り活動(つきそい等)	【共通】 ・見守りカレンダー(本部作成)による、グループ当番制・保護者による見守り活動(つきそい等)	【共通】 ・保護者による見守り活動(つきそい等) ・支部ごとの旗振り当番制を検討中	登校時
下校時	特になし	【一部】 ・有志による馬立活動	【一部】 ・有志による馬立活動	【一部】 ・有志による馬立 ・地域による旗振活動(宿支部当番制)	下校時
			一斉下校時見守り活動(交通委員会主導)	一斉下校時見守り活動(交通委員会主導)	

※馬立…車両侵入を防ぐ柵

見守り報告が
すぐできる！

新しいパトロールカードを配布します

報告用 QR コードつきの新しいパトロールカードに、
見守りの報告をして頂くことで、危険行動の防止や改善に
つながります。短時間でも着用を心がけましょう！



QR コードで
読み込みカンタン！

パトロールカードは、
PTA 保険が適用に
なるから、着用して
見守りの方がいいね！

流小の保護者だと
ひとめでわかるから、
子ども達が困った時に
声をかけてくれるかも！



1. パトスタ (パトロールスタンプ)

活動したら、「パトスタ」！
見守りを終えた印に、ぽちっとスタンプを。
見える化によって見守りの輪を広げていきます。

2. パトリポ (パトロールレポート)

道路に壊れたものがある、子ども達が危険な行
動をしている・・・など、その交通報告が、その後
の安全につながる一歩です。

3. 緊急連絡先

子どもがケガをした、事故を目撃した、保護者自身
が対応に迷う・・・など、いざという時に連絡可能
な、学校の連絡先が記載されています。

親子で確認したら、チェックしよう！

夏休みに気をつけたい、道路のマナー

横断歩道を渡りましょう！

子どもの判断力は未熟です。
「おうちの人といつも渡っているから」と、子どもはひとりの時も
同じ行動をとります。保護者は、子どもの見本です。
車線のある道路は、かならず横断歩道を利用しましょう。

自転車の乗り方に、気をつけましょう！

自転車に乗る際は、ヘルメットを着用しましょう。
自転車は車やバイクと同じ、危険を伴う乗り物の仲間。
飛び出しやスピードの出しすぎに注意し、時間と気持ちに余裕をもって
運転することが安全につながります。

石や物を、道路に置く・線路内に投げ込むのは、悪質な危険行為です。

面白がってする子どもがときどき見受けられます。
悪質な危険行為であることを、お知らせください。

夏休みの見守り報告は
こちらから↓



交通委員会へのご意見・お問合せはこちら ryusho.pta.kotsu@gmail.com

※見守りアンケートのご協力をありがとうございました。
子どもたちの登下校について、多くの保護者からご意見が寄せられました。
各家庭でもできることから始めましょう！ ぜひ、裏面をご覧ください。

続きは裏面へ

見守りについてのアンケート結果

※流小 850 世帯を対象に実施、
回答率 54.4%

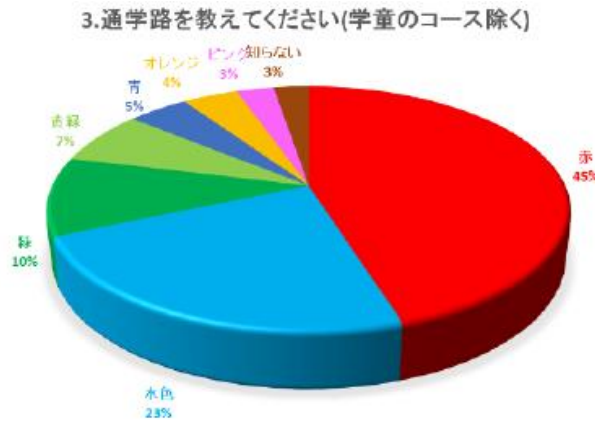
アンケート結果の詳細は、流山小学校
ホームページからご覧ください。➡



▼ 登下校中の危険について

登下校中の児童に対して、危険と感じている箇所、
又はヒヤリ・ハッとした箇所はありますか？

ある 54%



☞ 児童の約半数が赤コース利用、
危険の目撃情報が多かった。

☞フリーコメント
縁石や線路近くでの児童の危険行為、
横断歩道のない箇所の横断時に関する危険、
自転車との接触事故、トラックの荷積み・駐車に
関する情報も多数。

☞スクールゾーンなどの交通ルールが、
ドライバーに守られていない現状。

▼ 取り組みの現状

お子さまの交通安全対策に行っていることは、ありますか？

- ・「止まれ・待つ・見る」などの安全確認の指導を行っている…382 世帯
- ・走らせない・急がせないと指導している…267 世帯
- ・通る道路を決めている…271 世帯
- ・危ない場所を一緒に歩いて指導している…141 世帯

交通安全の見守り活動を行っていますか？

- ・登下校の付き添い…148 世帯(29%)
- ・ながら見守り…194 世帯(38%)
- ・旗振りなどの定点見守り…23 世帯(4%)
- ・特に何もしていない…146 世帯(29%)

黄色い旗を使ったことはありますか？

ある 35% **ない 61%**

見守りカレンダーを見たことはありますか？
(あると答えた方に) 活用したことはありますか？

見たことがある 86%
活用したことがある **31%**

▼ 当番制についての望む声

【交通安全委員会】や【見守り活動】へのご意見

- ・当番制・交代制の復活
- ・任意での見守り継続
- ・できない
- ・シルバー人材や外部委託
- ・警察や行政、地域の店舗との連携
- ・子どもへの交通指導
- ・感謝 等

14.コロナ禍以前のような、支部などによる順番に
回ってくる旗振りや馬立て当番が必要だと思いま





アンケート結果から、保護者のみなさまにお伝えしたいこと

① 「危ない場所」や「危ない行動」を、子どもたちに繰り返し伝える必要性があります。

「危ない場所」や「危ない行動」への指導が大切であるものの、家庭での交通安全指導の場面ではあまり言及されていないようです。

ご家庭でも子どもに伝えるべきことを、おたより等を通じて発信していきますので、会話のきっかけにしてみてください。

『子どもの交通安全対策』として行っていること	見かけた子どもの危ない行動
<ul style="list-style-type: none"> ・「止まれ・待つ・見る」などの安全指導 ・走らせない、急がせない ・通る道路を決めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・縁石の上を歩く ・店舗駐車場出入口の歩き方 ・登下校時に店舗駐車場を横切る ・踏切での立ち止まり ・公園でのボール遊びについて
<ul style="list-style-type: none"> ・危ない道路を一緒に歩いて指導 ・危ない場所には行かせない 	



20%以上

20%未満

② 負担軽減との引き換えは、“お金”だけではありません。

見守りの人材確保について、外部委託やシルバー人材活用の検討をというご意見があり、交通委員会内でも検討しました。

業者利用の場合は、概算を出したところ、今年度PTA会費の2倍以上と高額になることが分かりました。また、負担軽減と引き換えに下記の懸念点もあげられました。

保護者の費用負担

見守り意識の低下

地域のつながり

子どもたちの危機管理能力が育まれない可能性

外部委託を検討する場合は、これらの点を踏まえ慎重に考慮する必要があると考えます。

シルバー人材に依頼した場合のPTA会費

<概算>

箇所：危険箇所MAPにある15か所

単価：1時間1,000円×30名(1箇所につき2名)

日数：月20日(週5日×夏休みを除く11か月)

1か月費用 約600,000円

年間費用 約6,600,000円

[850世帯で割ると] 1世帯あたり 約7,764円/年

[児童数1090人で割ると] 1児童あたり 約6,055円/年

<ご参考>

2024年度 PTA会費 3,000円/年(月額250円)

参考URL[<https://gand-78.com/crossing-guard-outsourcing/>]

③ 安全な通学ができるように、保護者が望むこと。

【順番に回ってくる当番が必要だと思うか】の回答

あるほうがよい 17%

どちらでもよい 38%

55% (半数以上)

【子ども達の安全な登下校のために自分ができること】の回答

報告ツールの使いやすさ

情報共有の見える化

今年度の交通委員の活動は、『見守りんぐプロジェクト』を通して、気軽に伝えられる・みんなで共有できる仕組みを整えていきます。

そして子どもたちが安全に登下校できるよう、何かできるかなと考えている保護者が参加しやすい活動を目指して発信していきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。